

Fenestra

京大西洋史学報



創刊号 (2018年7月)

京都大学大学院文学研究科
西洋史研究室

フェネストラ

京大西洋史学報

創刊号（2018年7月） 目次

創刊の辞

論説・動向

服部 春彦

フランス革命・ナポレオン期ヨーロッパにおける美術品の移動とその影響..... - 1 -

田中 俊之

スイス中世史研究の現状と背景..... - 4 -

菊池 信彦

デジタルヒストリーの動向——「若手研究者問題」を背景に—— - 9 -

書評・紹介

藤田 風花

ジョナサン・ハリス著（井上浩一訳）

『ビザンツ帝国——生存戦略の一千年——』 - 17 -

学会参加記

酒嶋 恭平

From the Markets to the Associations に参加して..... - 20 -

西洋史研究室の現在

西洋史読書会シンポジウム「西洋史における時代区分をめぐって」 - 22 -

専任教員の講義..... - 24 -

大学院生の研究..... - 29 -

編集後記

《表紙の写真》：スティクレスタ教会壁画（ノルウェー）

ノルウェーの王位争い（スティクレスタの戦い1030年）の跡地に建てられたのがスティクレスタ教会である。伝承では教会の祭壇が置かれている場所でノルウェー王にして聖人のオーラヴ2世が殉教したと言われている。壁画は1930年、聖オーラヴ殉教900周年に合わせてノルウェー人画家アールヴ・ロルフセンによって制作されたフレスコ画で、聖オーラヴの殉教譚が題材となっている。